

第57回 旭川産地展
6月22日～6月26日
旭川家具センターにて
お待ちしております。



東京に小売専門店
天然素材家具の魅力PR

家具製造大手のカンデ 初の小売専門の新店舗を東京に開設する。天然
イハウス(旭川市、渡辺)「インテリアギャラリー」素材を主体とした新作シ
直行社長は6月4日、ippou(一本)「リースの家具を取りそろ

中古家具を補修販売
風合い生かし新品の半値

家具製造大手のカンデ イハウス(旭川市、渡辺 直行社長)は21日から、顧客から引き取った中古の自社製品を補修して「ヴィンテージ家具」として売り出す。「まだ使

えるのに捨てるのはもったいない」というエコ意識と「新品の半値程度で良質な家具が手に入る」というお得感の2つを同時に満たす新ビジネスとして注目を集めそうだ。

同社は昨秋から自社製の家具の有償回収サービスを始め、すでにソファやテーブルなど20点を買収した。主に1968～80年に販売した「ホック」ブランドが中心で、これ

400平方メートルに出店する。むく材の「本技」シリーズなどオリジナル家具190点を展示する。同社の主力製品はデザインの家やクラフト200点も扱う。店名の元となった「いいものを1つ前後だが」新店舗の価格帯は1～2割下げる「渡辺社長」に浴い、同社製家具の修理や再販売を前提とし、後に年間売上高1億5000万円を目指す。

中古オフィス家具
東日本で流通量増
販売価格下落に転じる

ロッカー、机や椅子など中古オフィス家具の流通量が東日本で増えていく。東日本大震災の発生直後に引越しやフロアの移動を一時見合わせた企業が移転を再開し、中古家具の出品を増やしたためだ。北関東や東北での流通量は震災前の2～3倍に膨らみ、震災直後の一時的な品薄で上昇していた販売価格は下落に転じた。

東日本では3月末に予定していた事務所の引越

越しやフロア移動を5月に実施した企業が目立つ。オフィスや生産拠点の統廃合や規模縮小を進める企業も多い。中古オフィス品販売のオフィスバスターズ(東京・千代田)によると、同社の仙台店(仙台市)に持ち込まれた中古オフィス用品は前年同期の3倍に増えた。

中古オフィス家具の価格は震災直後は供給減で上昇したが、5月の連休明けに下落に転じた。東北・仙台周辺での販売価格は、6人用スチールロッカーで1万8000円程度と震災直後に比べ10%下落。事務用机は1万3000円程度(引き出しが片そでタイプ)と13%下がった。東京でのロッカーや机の販売価格も震災直後の高値から5～10%程度下がった。

With
さまざまなライフシーンに似合う家具がきっと見つかります。

大川夏の彩展2011 OKAWA FURNITURE SUMMER EXHIBITION 2011
同時開催「情報資材展2011」
平成23年7月6日(水)・7日(木) 9:00～18:00(7月7日は17:30まで)

※会場 第一会場/大川家具工場 第二会場/大川家具工場(旧・Uゾーン) 第三会場/大川インテリアアート・エールパレ

※主催 協賛組合 大川家具工業会 協賛組合 大川家具工業会 協賛組合 大川家具工業会

〒951-0016 旭川市大川町大字東野221-3
Tel.0944-67-2290 Fax.0944-66-2004

→ http://www.okawa.or.jp/

平成23年7月6日～7日
大川夏の彩展に出展します。